

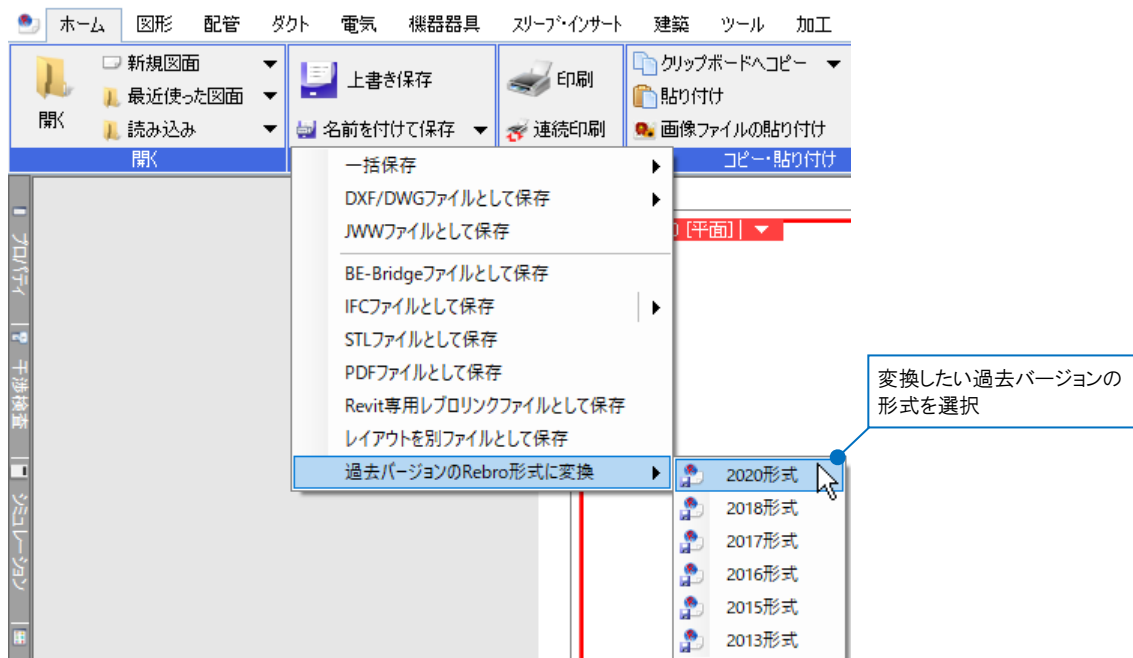
Q 新バージョンで作成した図面を過去バージョンのレプロで使用するには

A [過去バージョンの Rebro 形式に変換]で保存します

新バージョンで作成した図面を過去バージョンのレプロで使用するには、図面を過去バージョンの形式に変換して保存します。変換は、Rebro または RebroViewer を使用して行うことができます。
 ※新バージョンで新たに追加された機能は過去バージョンでは表示されません。

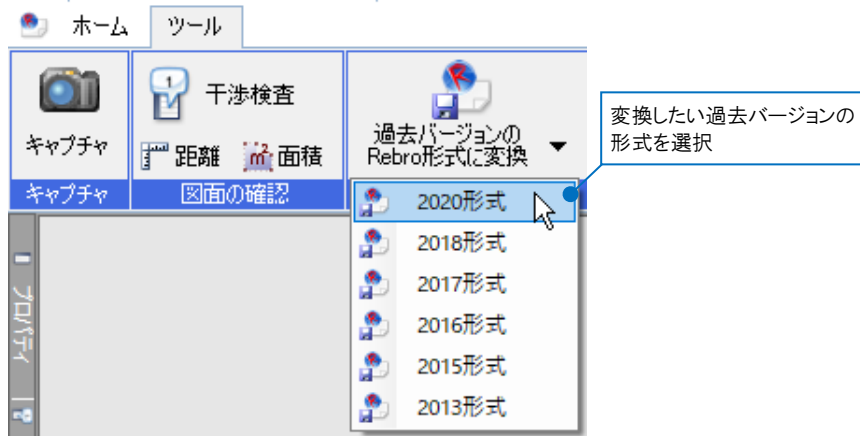
1 [Rebro]からの変換

[ホーム]タブ-[名前を付けて保存]横の[▼]をクリックし、[過去バージョンの Rebro 形式に変換]より変換したい過去バージョンの形式を選択します。



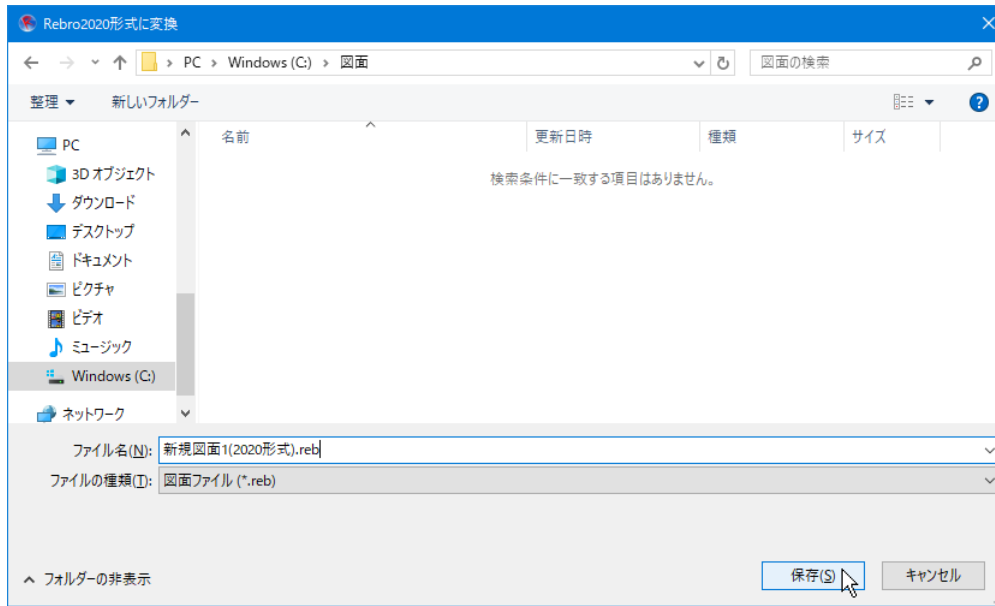
[RebroViewer]からの変換

[ツール]タブ-[過去バージョンの Rebro 形式に変換]より変換したい過去バージョンの形式を選択します。



2

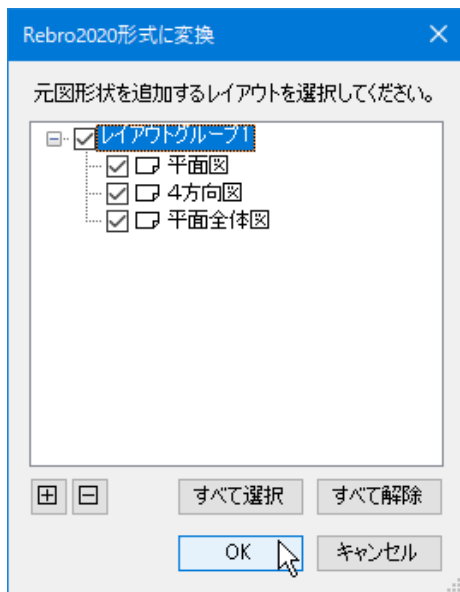
保存先、ファイル名を入力し[保存]をクリックします。



3

元図形状を追加して保存するためのダイアログが表示されます。
図面表現を保持したいレイアウトにチェックを入れます。初期値ではすべてのレイアウトを選択した状態となっています。

「OK」をクリックすると、選択した過去バージョンの形式で図面が保存されます。



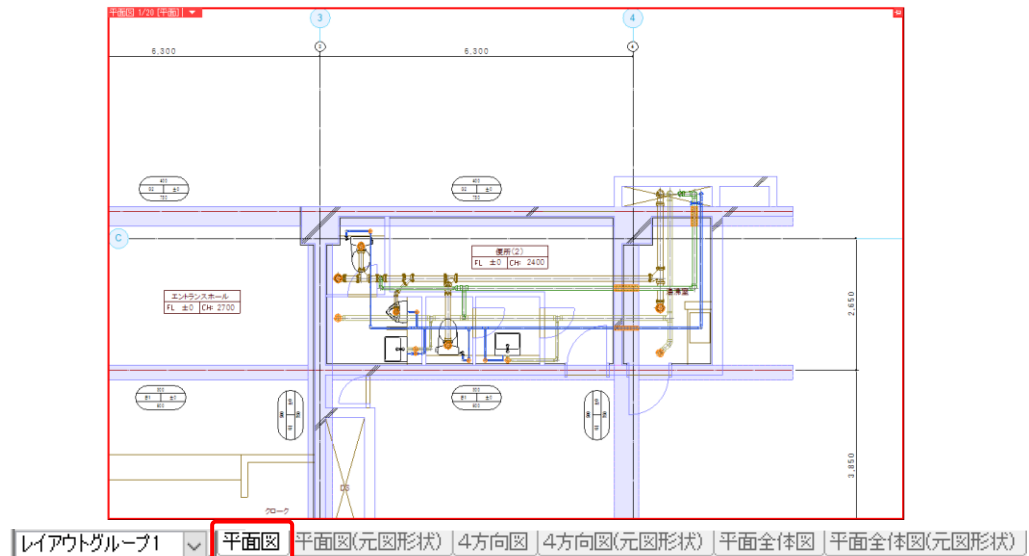
4

変換を行うと設備情報を保持する「属性優先のレイアウト」と、図面表現を保持する「元図形状のレイアウト」の2種類を作成します。

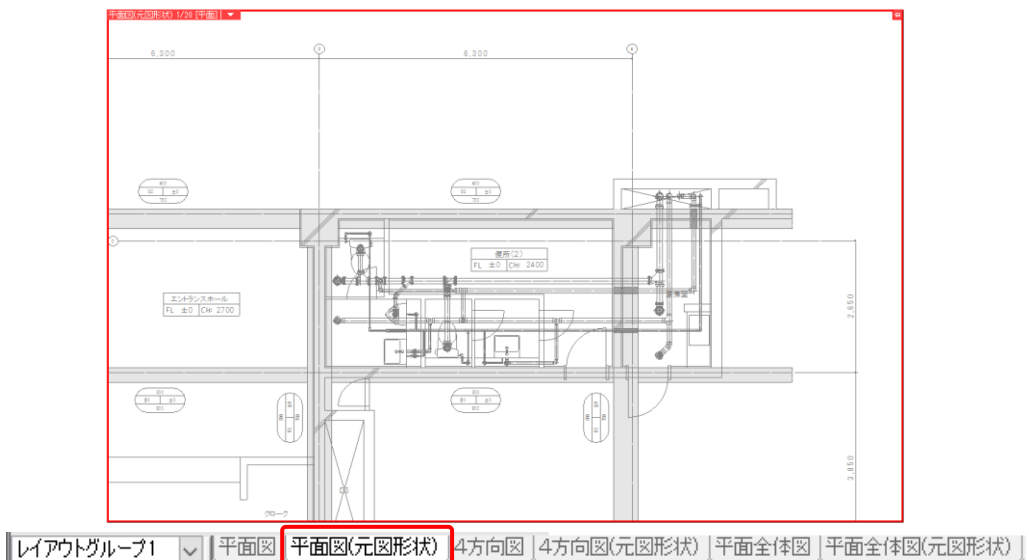
「属性優先のレイアウト」では新バージョンでの新機能を過去バージョンの表現に置き換えます。表現できない要素は削除されます。

「元図形状のレイアウト」は汎用図形に置き換えて図面表現を維持します。レイヤーは非検索になります。

「属性優先のレイアウト」



「元図形状のレイアウト」



●補足説明

レプロのヘルプで各バージョンに変換した際に変換や削除される要素の確認ができます。

[ホーム]タブ-[ヘルプ]をクリックし、ヘルプのダイアログで[目次(C)]タブ-[ユーザーズガイド]-[過去バージョンの Rebro 形式に変換(概要)]をご確認ください。

